

試 験 検 査 成 績 書

有限会社 ことぶき 殿

厚生大臣指定検査機関（食品衛生法・水道法）

社団法人東京都食品衛生協会

東京食品技術研究所長

平成 11 年 4 月 26 日検査依頼により提出された試験品に

ついて行った試験検査の結果は下記のとおりです

記

試験品（検体）の名称及び数量

フミライト LB-55 1 件

試験検査の内容

消臭効果試験

試験検査の成績

1. 使用ガスおよび初期濃度

①アンモニア：220 ppm ②硫化水素：40 ppm

2. 試験方法

5 L 容量のテドラーバックに試験品 1 個を入れたのち、空気ベースの上記使用ガスを各々封入し、室温で 30 分放置後、検知管を用いてバック内の残存ガス濃度を測定した。また対照として、バック内にガスのみを封入し、試験品と同様の操作を行った。

3. 試験結果

①アンモニアに対する消臭効果試験

試 験 品	残 存 ガ ス 濃 度	消 臭 率
フミライト LB-55	5 ppm	97.6 %
対 照	210 ppm	—

②硫化水素に対する消臭効果試験

試 験 品	残 存 ガ ス 濃 度	消 臭 率
フミライト LB-55	1.5 ppm	96.3 %
対 照	40 ppm	—

以上

試験検査成績書

東技研第301-C号
平成11年6月7日

有限会社 ことぶき 殿

厚生大臣指定検査機関(食品衛生法・水道法)
社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所長

平成10年4月26日検査依頼により提出された試験品について
行った試験検査の結果は下記のとおりです。

記

試験品(検体)の名称及び数量

フミライト LB-55 1件

試験検査の内容

抗菌性(大腸菌)

試験検査の成績

大腸菌 個/ml		初発菌数 200,000
	フミライト LB-55	空試験
3時間後	2,300	200,000

①供試菌液の調製方法

大腸菌(Escherichia coli IF0 3972)を、普通ブイヨン培地を用いて、35℃
18時間培養した。

②試験用細菌浮遊液の調製方法

滅菌水1ℓに500分の1濃度になるように普通ブイヨン培地を加え、①で希釈
した上記の供試菌液を均一に分散させたものを、試験用細菌浮遊液とした。

③試験操作の方法

上記②の試験用細菌浮遊液1ℓにフミライト LB-55を1袋加え、室温にお
いて攪拌させ、3時間後の大腸菌数を求めた。

別に空試験として、滅菌水1ℓを用いて同様に試験を行った。

④大腸菌数の測定方法

普通寒天平板培地を用い、35℃において24時間培養後に菌数の測定を行った。
以上



試験検査成績書

東技研第301-A号
平成11年6月7日

有限会社 ことぶき 殿

厚生大臣指定検査機関(食品衛生法・水道法)

社団法人東京都食品衛生協会

東京食品技術研究所長



平成10年4月26日検査依頼により提出された試験品について
行った試験検査の結果は下記のとおりです。

記

試験品(検体)の名称及び数量

フミライト LB-55

1件

試験検査の内容

抗菌性(黄色ブドウ球菌)

試験検査の成績

黄色ブドウ球菌 個/ml		初発菌数 1,600,000
	フミライト LB-55	空試験
3時間後	530,000	3,200,000

①供試菌液の調製方法

黄色ブドウ球菌(Staphylococcus aureus IF0 12732)を、普通ブイヨン培地を用いて、35℃18時間培養した。

②試験用細菌浮遊液の調製方法

滅菌水1ℓに500分の1濃度になるように普通ブイヨン培地を加え、①で希釈した上記の供試菌液を均一に分散させたものを、試験用細菌浮遊液とした。

③試験操作の方法

上記②の試験用細菌浮遊液1ℓにフミライト LB-55を1袋加え、室温において攪拌させ、3時間後の黄色ブドウ球菌数を求めた。

別に空試験として、滅菌水1ℓを用いて同様に試験を行った。

④黄色ブドウ球菌数の測定方法

普通寒天平板培地を用い、35℃において48時間培養後に菌数の測定を行った。
以上



試験検査成績書

東技研第301-B号
平成11年6月7日

有限会社 ことぶき 殿

厚生大臣指定検査機関(食品衛生法・水道法)
社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所長

平成10年4月26日検査依頼により提出された試験品について
行った試験検査の結果は下記のとおりです。

記

試験品(検体)の名称及び数量

フミライト LB-55 1件

試験検査の内容

抗菌性(サルモネラ)

試験検査の成績

サルモネラ 個/ml		初発菌数 550,000
	フミライト LB-55	空試験
3時間後	330	540,000

①供試菌液の調製方法

サルモネラ (Salmonella enteritidis IF0 3313)を、普通ブイヨン培地を用いて、35℃18時間培養した。

②試験用細菌浮遊液の調製方法

滅菌水1ℓに500分の1濃度になるように普通ブイヨン培地を加え、①で希釈した上記の供試菌液を均一に分散させたものを、試験用細菌浮遊液とした。

③試験操作の方法

上記②の試験用細菌浮遊液1ℓにフミライト LB-55を1袋加え、室温において攪拌させ、3時間後のサルモネラ菌数を求めた。

別に空試験として、滅菌水1ℓを用いて同様に試験を行った。

④サルモネラ菌数の測定方法

普通寒天平板培地を用い、35℃において24時間培養後に菌数の測定を行った。
以上

受付No. 19-TA-1291
受付年月日 2020年01月06日
報告年月日 2020年01月09日

有限会社ことぶき 様

厚生労働大臣登録検査機関
一般財団法人 茨城県薬剤師会検査センター
茨城県水戸市笠原町978番47



検査成績書

検体名	: 原水
検査方法	: 「下水試験方法 2012年版」
付記事項	: 採取場所: お台場海浜公園 北側 採取日時: 2019. 12. 27 11:15 採取者: 和田義雄

検査項目	検査結果	単位	方法	注
大腸菌数	25,000	MPN/100mL	メンブランフィルター法	
腸球菌数	18,000	MPN/100mL	メンブランフィルター法	
－ 以下余白 －				

HWA0021191-001

試験検査成績書

東技研第301-B号
平成11年6月7日

有限会社 ことぶき 殿

厚生大臣指定検査機関(食品衛生法・水道法)

社団法人東京都食品衛生協会

東京食品技術研究所長

平成10年4月26日検査依頼により提出された試験品について
行った試験検査の結果は下記のとおりです。

記

試験品(検体)の名称及び数量

フミライト LB-55 1件

試験検査の内容

抗菌性(サルモネラ)

試験検査の成績

サルモネラ 個/ml		初発菌数 550,000
	フミライト LB-55	空試験
3時間後	330	540,000

①供試菌液の調製方法

サルモネラ (Salmonella enteritidis IF0 3313)を、普通ブイヨン培地を用いて、35℃18時間培養した。

②試験用細菌浮遊液の調製方法

滅菌水1ℓに500分の1濃度になるように普通ブイヨン培地を加え、①で希釈した上記の供試菌液を均一に分散させたものを、試験用細菌浮遊液とした。

③試験操作の方法

上記②の試験用細菌浮遊液1ℓにフミライト LB-55を1袋加え、室温において攪拌させ、3時間後のサルモネラ菌数を求めた。

別に空試験として、滅菌水1ℓを用いて同様に試験を行った。

④サルモネラ菌数の測定方法

普通寒天平板培地を用い、35℃において24時間培養後に菌数の測定を行った。
以上